

令和 4 年度  
(令和 3 年度事業)

教育行政事務の管理及び執行の状況  
に関する点検・評価報告書

赤平市教育委員会

# 目 次

はじめに .....	1
<b>教育委員会の活動状況等</b> .....	1
1 教育委員会の会議開催状況 .....	1
2 教育費の決算状況 .....	5
<b>点検・評価について</b> .....	6
1 点検・評価の目的 .....	6
2 点検・評価の対象 .....	6
3 点検・評価の視点及び方法 .....	6
◎点検・評価重点施策事業一覧 .....	7
I 学校教育の充実 .....	
① 学力向上対策 .....	8
② 体力向上対策 .....	9
③ フッ化物洗口 .....	10
④ 安全安心な学校給食の提供 .....	11
⑤ いじめ未然防止 .....	12
⑥ 不登校への対応と未然防止 .....	13
⑦ 特別支援教育 .....	14
⑧ 小・中学校適正配置計画の推進 .....	15
⑨ 高校通学費等助成 .....	16
⑩ 奨学金返還免除（人材育成・定住促進奨学金） .....	17
⑪ I C T活用教育 .....	18
⑫ 公設塾の開設 .....	19
II 社会教育の推進 .....	
① 青少年教育 .....	20
② 出前講座 .....	21
③ 社会教育施設等の充実 .....	22
④ 文化財保護 .....	23
⑤ 図書館の運営と読書活動 .....	24
⑥ 体育・スポーツ活動 .....	25
<b>《資料》教育施設利用状況</b> .....	26

## はじめに

平成19年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出するとともに公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

## 教育委員会の活動状況等

### 1 教育委員会の会議開催状況

【教育委員会委員】

令和4年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教育長	高 橋 雅 明	令和元年10月1日	令和元年10月1日 ～令和4年9月30日
委員（職務代理者）	山 本 由美子	平成24年2月1日	令和2年2月1日 ～令和6年1月31日
委員	瓜 郁 夫	平成24年10月1日	令和2年10月1日 ～令和6年9月30日
委員	坪 谷 翳 香	平成23年7月1日	令和3年10月1日 ～令和7年9月30日
委員	高 澤 司	平成28年4月1日	平成30年10月1日 ～令和4年9月30日

赤平市教育委員会の会議は、おおむね月に1回開催しています。教育長及び4名の教育委員が教育行政の基本方針、規則の制定・改廃などを審議するほか、本市の教育を取り巻く状況等の報告を受け、その問題点と対応などについても協議しています。

開 催 日	付 議 案 件 等
令和3年4月21日	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 令和3年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p>
令和3年4月28日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>報告第2号 教育委員会企画員の委嘱について</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 赤平市学校教育推進計画の策定について</p> <p>議案第2号 赤平市立幼稚園預かり保育の実施に関する規則の一部改正について</p> <p>議案第3号 令和3年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について</p>
令和3年5月28日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 令和3年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 赤平市立学校における業務改善計画の改定について</p> <p>議案第3号 令和3年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について</p>
令和3年6月28日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 令和3年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について</p>
令和3年7月30日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p>
令和3年8月26日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p>

開催日	付議案件等
	<p>議案第1号 令和3年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 赤平市立学校設置条例の一部改正に係る意見の申出について</p> <p>議案第3号 令和4年度使用中学校用教科用図書（歴史分野）の採択について</p>
令和3年9月30日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 事務局職員の任免について</p> <p>議案第2号 赤平市教育委員会公印規則及び赤平市立小学校及び赤平市立中学校の通学区域に関する規則の一部改正について</p> <p>議案第3号 令和3年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p>
令和3年10月29日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について</p>
令和3年11月26日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 令和3年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p> <p>議案第3号 赤平市社会教育委員の委嘱について</p>
令和3年12月29日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p>
令和4年1月28日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p>
令和4年2月18日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p>

開 催 日	付 議 案 件 等
	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 令和3年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 令和4年度赤平市一般会計予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第3号 赤平市奨学資金条例の廃止に係る意見の申出について</p> <p>議案第4号 赤平市スポーツセンター条例の廃止に係る意見の申出について</p> <p>議案第5号 赤平市公民館条例の全部改正に係る意見の申出について</p> <p>議案第6号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について</p> <p>議案第7号 令和4年度赤平市教育行政執行方針について</p>
令和4年3月4日	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 市内小・中学校教職員の任免について</p>
令和4年3月30日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 事務局職員の任免について</p> <p>議案第2号 令和4年度教育施設整備に係る工事計画の策定について</p> <p>議案第3号 赤平市立学校管理規則の一部改正について</p> <p>議案第4号 赤平市奨学資金条例施行規則の廃止について</p> <p>議案第5号 赤平市公民館使用条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第6号 赤平市教育委員会公印規則の一部改正について</p> <p>議案第7号 赤平市スポーツセンター条例施行規則の廃止について</p> <p>議案第8号 赤平市総合体育館設置条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第9号 赤平市教育委員会事務局組織規則の一部改正について</p> <p>議案第10号 赤平市教育委員会事務決裁規程の一部改正について</p>

## 2 教育費の決算状況

令和3年度教育費決算総額は27億8,080万2,171円で前年度比419.5%となり、一般会計に占める教育費の割合は21.9%で前年度より16ポイントの増加となりました。これは、統合小学校建設事業が最終年度を迎えることによる工事や備品購入に係る支出が多くなったためです。

なお、各項別の支出額と教育費に占める割合は次のとおりです。

款	項	支 出 額	割 合
教 育 費		2,780,802,171 円	100.0%
	1 教育総務費	134,259,940 円	4.83%
	2 幼稚園費	7,828,402 円	0.28%
	3 小学校費	2,424,516,045 円	87.19%
	4 中学校費	40,430,509 円	1.45%
	5 社会教育費	47,631,150 円	1.71%
	6 保健体育費	32,715,212 円	1.18%
	7 学校給食費	93,420,913 円	3.36%

## 点検・評価について

### 1 点検・評価の目的

教育委員会では法に基づく点検及び評価を行い、教育に関する事務の管理及び執行の状況についての説明責任を果たすとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ることを目的とします。

### 2 点検・評価の対象

令和4年度の点検・評価対象は、令和3年度教育行政執行方針に掲げている、教育行政が目指す基本的な取組を行うための重点施策事業としました。

◎点検・評価重点施策事業一覧（7ページ）のとおり

### 3 点検・評価の視点及び方法

教育委員会では、各事業を達成度・効果度の観点から4段階（※下記評価基準

A) により点検・評価し、課題・改善策など今後の取組も併せて5段階の総合評価（※下記評価基準B）を行い、「教育行政事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。

※評価基準A

評価記号	評価	評価基準
A	順調	<ul style="list-style-type: none"><li>効果的で優れた取組を行った。</li><li>目標の達成に向け大きな成果を挙げた。</li><li>事務事業として大きな成果を挙げた。</li><li>問題点や課題がない。</li></ul>
B	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"><li>効果的な取組を行った。</li><li>目標の達成に向けて一定の成果を挙げた。</li><li>事務事業として一定の成果を挙げた。</li><li>大きな問題点や課題がない。</li></ul>
C	見直し・改善	<ul style="list-style-type: none"><li>取組を行った。</li><li>目標の達成に向けて多少の成果を挙げた。</li><li>事務事業として多少の成果を挙げた。</li><li>問題点や課題がある。</li></ul>
D	休止・廃止の検討	<ul style="list-style-type: none"><li>取組を行わなかった。</li><li>目標の達成に向けて成果が挙がらなかった。</li><li>事務事業としての成果は挙がらなかった。</li><li>大きな問題点や課題が残った。</li></ul>

※評価基準B

評価記号	総合評価
①	拡充
②	継続
③	一部改善
④	大幅改善
⑤	休止・廃止

また、教育委員会が行った活動状況や施策・事業等の実施状況についての点検及び評価の客觀性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から、点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

#### ◎点検・評価重点施策事業一覧

大項目	所管	点検・評価重点施策事業	達成度	効果度	総合評価
学校教育の充実	学校教育課	1 学力向上対策	C	C	①
		2 体力向上対策	A	B	②
		3 フッ化物洗口	D	D	②
		4 安全安心な学校給食の提供	A	A	②
		5 いじめ未然防止	B	B	②
		6 不登校への対応と未然防止	C	C	①
		7 特別支援教育	B	B	①
		8 小・中学校適正配置計画の推進	B	B	⑤
		9 高校通学費等助成	A	A	②
		10 奨学金返還免除	A	B	②
		11 ICT活用教育	B	B	②
		12 公設塾の開設	C	B	①
社会教育の推進	社会教育課	1 青少年教育	C	C	③
		2 出前講座	C	B	②
		3 社会教育施設等の充実	C	C	②
		4 文化財保護	C	B	②
		5 図書館の運営と読書活動	B	B	②
		6 体育・スポーツ活動	C	C	②

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	学力向上対策			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 「全国学力・学習状況調査」における全国平均正答率		
	目的	知識や技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び主体的に判断し、行動し、より良く問題解決する資質や能力等を身に付ける。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 「全国学力・学習状況調査」において、全国平均正答率を下回った。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上プランの作成・実施</li> <li>■教員加配による少人数指導の実施(道予算、赤間小)</li> <li>■" 理科専科指導の実施(道予算、茂尻小・豊里小)</li> <li>■標準学力検査・知能検査の実施</li> <li>■地域の学力支援事業(道実施)活用による教職員研修・授業実践</li> <li>■ALT(外国语指導助手)2人体制の継続</li> <li>■退職教員外部人材講師(道予算・豊里小)による少人数指導等の実施</li> <li>■支援員配置による学習・生活支援</li> <li>■長期休業中・放課後における補充学習の実施(一部中止)</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	標準学力、知能検査 639 千円		標準学力、知能検査 612 千円	標準学力、知能検査 621 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	「全国学力・学習状況調査」における全国平均正答率を下回った。
効果度	C	各種施策を実施しているが、改善が見られない状況にある。
今後の取組		
課題	各種施策を実施しているものの、改善には至っていない。	
改善策	各種施策を通じた、学力向上に向けての授業改善、児童生徒・保護者等の意識改革を図る。 長期休業中や放課後における学習サポートの充実などで、学習習慣の定着及び生活習慣の改善を確立する。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由： 最重要の課題であり、更に拡充し各種施策に取り組む必要があるため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	体力向上対策			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(各種目の状況)」の全体結果が全国平均		
	目的	教育委員会・学校が児童生徒の体力や運動習慣・生活習慣・食習慣を把握した上で、学校における体育・健康に関する指導を通じ改善を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(各種目の状況)」において、平均を下回る種目はあるものの、全体結果は全国平均を上回った。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新体力テストの実施</li> <li>■1校1実践の奨励</li> <li>■体力向上の検討組織として、体力向上委員会を設置</li> <li>■体力向上プランの作成・実施</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	29年度(28年度事業)に全国平均を目標値として以来、初の目標到達となった。
効果度	B	学校における体育・健康に関する指導が、一定程度の効果を挙げたものと考えられる。
今後の取組		
課題		今年度の結果が一過性のものとならないよう、経年的な結果分析・各種施策の継続と結果に合わせた見直しが必要となる。 全体の平均得点が全国の平均得点を上回ったものの、性別や学年、種目ごとの差が大きいことから、これらを高い水準で平準化していくことも課題である。
改善策	運動の楽しさを伝えながら、体力向上に向けた取組を継続的に実施していく。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 最重要の課題であり、継続して各種施策に取り組む必要があるため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	フッ化物洗口			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 小学生の実施割合90%、中学生の実施割合80%		
	目的	児童・生徒のむし歯予防のため。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年間を通じてフッ化物洗口を中止(2年連続)した。		
	内容			
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	消耗品・薬剤費等 0 千円		消耗品・薬剤費等 64 千円	消耗品・薬剤費等 96 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	D	-
効果度	D	-
今後の取組		
課題	新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、本事業の再開を検討しなければならない。	
改善策	児童生徒の健康増進に有効であることと感染症対策徹底とのバランスを見極めつつ、適切な再開時期を決定する。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 実施による有効性についての周知を行いながら、再開に向けた検討を継続するため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校給食センター
事業名称	安全安心な学校給食の提供			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 食育により、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける。		
	目的	学校給食の充実及び学校における食育の推進を図ることを目的として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき学校給食センターを設置し、児童・生徒に安全・安心な給食を提供する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 栄養教諭が小・中学校全クラスを訪問し、食育に努めた。		
	内容	給食の提供 ■給食日数 205日 ■提供食数 103,641食(前年度111,563食) ■新型コロナウイルス感染症対策のためバイキング給食を中止し、セレクト給食を実施した。 地産地消 ■地元生産者からのメッセージDVD等を各学校に配布した。 ■地元の食材使用率(括弧内は前年度) 米100%(100%)、じゃがいも8.6%(5.8%)、大根7.4%(8.1%)、 にんじん0.0%(2.2%)、キャベツ0.5%(2.4%)、白菜1.9%(1.2%)		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	学校給食センター費 93,421 千円		学校給食センター費 71,664 千円	学校給食センター費 67,567 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	感染防止対策・衛生管理を徹底しながら、安全・安心な学校給食を提供した。
効果度	A	栄養教諭の学校訪問による食育と地産地消を行いながら、おいしい給食の提供に努めた。
今後の取組		
課題		食材・調味料等の値上げにより、現在の給食費で收支均衡を保つことが困難になっている。
改善策		子育て支援・保護者負担軽減の観点から、市の予算で1食当たり20円程度を負担し続けることで、給食費の値上げを回避する。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 地産地消を図りながら、安全・安心な学校給食の提供を継続するため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	いじめ未然防止			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 児童生徒へのいじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率100%		
	目的	いじめはどの学校でもどの児童生徒にも起こり得るという認識のもと、いじめの問題を根本的に解決していく。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 児童生徒へのいじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率95.4%（小学校97.3%、中学校92.4%）		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■いじめ防止アンケートの実施による実態把握（年2回）</li> <li>■「いじめ問題対策連絡協議会」の開催（書面）による関係機関の連携強化</li> <li>■青少年センター専門指導員による学校訪問等</li> <li>■家庭へのいじめチェックシートの配布</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「子ども会議」の開催による児童・生徒交流、事例発表（中止）</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	0 千円		17 千円	17 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率が、前年比で2.9（小学校3.5、中学校1.9）上回った。
効果度	B	「いじめは絶対に許されない」との認識が広がることで、いじめの未然防止に効果があった。
今後の取組		
課題	「いじめは絶対に許されない」との認識を定着させるとともに、発生している個別案件の早期発見と、解決に向けた具体的な対応を進める必要がある。	
改善策	いじめ防止アンケートに記載された内容の確認を徹底し、個別のいじめ案件への早急な対応を進める。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 各事業を継続し、いじめ根絶に向けた児童生徒や保護者の理解を促すため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	不登校への対応と未然防止			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 不登校児童生徒割合の減少		
	目的	児童生徒の不登校・問題行動等の未然防止や早期発見・早期対応を図るため、関係機関とも連携しながら問題解決に当たる。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 不登校児童生徒割合5.4%(24名)[前年度4.0%(18名)、元年度2.6%(12名)]		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スクールカウンセラー1人(道費88時間・市費50時間)による相談業務</li> <li>■青少年センター専門指導員による学校訪問等</li> <li>■関係機関等との連絡・調整及びケース会議開催</li> <li>■適応指導教室(滝川市)の利用</li> <li>■通級指導教室での相談</li> <li>■支援員の別室登校対応</li> <li>■教員加配による生徒支援の実施(道予算・赤平中)</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	350 千円		402 千円	775 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	関係機関等と対応・対策を講じたが、不登校児童生徒の割合・人数ともに増加した。
効果度	C	「実績」にある施策が一定の成果を挙げているものの、不登校児童生徒の減少には至っていない。
今後の取組		
課題		不登校児童生徒の相談体制整備が進んでいるにも関わらず、その割合・人数が増加した。
改善策		学校・家庭・関係機関との連携を一層強化するとともに、改善に向けた新たな方策を実施する。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 不登校児童生徒減少に向けた体制整備を進めてきたが、増加傾向に歯止めはかかっていない。各事業を継続しつつ、新たな施策を実施する必要があるため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	特別支援教育			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	児童生徒の状況に応じた学習環境の設定やきめ細やかな対応を行い、特別支援教育の充実を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各小・中学校に支援員を配置</li> <li>■教育支援委員会の開催(5回)</li> <li>■就学相談・指導の実施</li> <li>■通級指導教室(赤間小) (担当教員2人、在籍児童39人、スクールバス送迎・他校巡回実施)</li> <li>■個別の教育支援計画作成</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	16,899 千円		16,996 千円	9,109 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	通級指導教室担当教員の2人体制継続、支援員の人材確保等により、特別支援教育の体制が充実した。
効果度	B	学習・学校生活面の支援に効果があった。
今後の取組		
課題		個別支援の必要な児童生徒が増加傾向にあることから、就学時健診や就学指導段階での相談体制や学校での支援体制強化が必要となっている。
改善策		通級指導教室の増員を目指すとともに、支援員の人材確保を継続する。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由： 特別支援教育の必要性が高まっていることから、各事業を継続するとともに更なる拡充を進めるため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課総務係
事業名称	小・中学校適正配置計画の推進			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	令和4年4月の小学校新築統合に向け、統合準備委員会などでの検討・協議、建設工事・備品選定・引っ越し作業等を円滑に進める。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■統合準備委員会の開催(1回)、その他部会の開催など</li> <li>■統合小学校建設工事 2,242,886千円 (建築主体1,410,658千円、強電設備139,612千円、弱電設備77,220千円、空調換気設備226,930千円、給排水衛生設備97,581千円、外構整備115,863千円、グラウンド整備120,868千円、フェンス整備52,580千円、その他工事1,574千円)</li> <li>■統合小学校工事監理 14,245千円</li> <li>■統合小学校用備品購入 86,595千円</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	2,343,726 千円		263,681 千円	234,602 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	統合準備委員会等での検討・協議及び建設工事(令和3年度分)を、おおむね予定どおり完了した。
効果度	B	「小・中学校適正配置計画」に基づく小学校統合の完了に向け、必要な準備が進んだ。
今後の取組		
課題		今後は、時代に即した教育環境整備や長期間の使用に耐え得る効果的な施設の維持管理といった新たな課題が継続する。
改善策		-

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
(5)	理由： 「小・中学校適正配置計画」に基づく小・中学校統合が完了したため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	高校通学費等助成			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	高等学校等に就学している生徒の通学費等の一部を助成するための支援金(月額7,000円)を保護者に交付し、その負担軽減を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支給額 生徒1人につき月額7,000円(四半期ごとに交付)</li> <li>■支給人数 150人</li> <li>■支給世帯 142世帯</li> <li>■支給総額 12,474,000円</li> </ul> <p>※周知徹底のため、対象者のいる全世帯に本事業のお知らせを配布した。</p>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	12,474 千円		15,196 千円	11,735 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	事業開始から6年度目を迎え、保護者の認知も進み円滑に支給することができた。
効果度	A	高校等に通学する生徒の保護者負担軽減に寄与した。
今後の取組		
課題	定住促進への効果について、他の子育て支援施策とともに検証する必要がある。	
改善策	保護者への聞き取り調査を実施し、本事業の効果度等を検証する。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 高校生等のいる保護者の負担軽減と進学の奨励に有効な施策であることから、同じ内容で継続するため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課総務係
事業名称	奨学金返還免除(人材育成・定住促進奨学金)			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 返還を開始した卒業生の免除割合50%以上		
	目的	高校・大学等を卒業後、赤平市に居住し就労する方の奨学金返還を免除することにより、市内企業への就職・定住を促進する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 免除割合28.6%(7人中2人免除) (前年度22.2%[9人中2人免除])		
	内容	奨学金返還免除割合 ■返還を開始した卒業生7人のうち、2人が半額免除に該当した。 (前年度は、9人のうち1人が全額免除、1人が半額免除。) 人材育成・定住促進奨学金の貸与内訳 ■貸与47人(高校5人、専門18人、短大2人、大学22人)。うち、新規22人。 ※貸与金額等 高校・高専 月額2万円以内、専門学校・大学等 月額4万円以内、 免除要件 市内居住市内就労で全額免除、市内居住市外就労で半額免除 ※周知徹底のため、高校生のいる全世帯に本事業のお知らせを配布した。		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	平成 2 年度	平成 元 年度
	貸与額 20,740 千円 (返還免除額680千円)		貸与額 20,660 千円 (返還免除額600千円)	※返還2年度目 貸与額 15,740 千円 (返還免除額320千円)

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	利用者は増加傾向(30年度31人、元年度37人、2年度48人、3年度47人)で、赤平市独自の奨学金として広く認知されている。
効果度	B	赤平市に定住を指向する学生に対し援助できたが、定住促進への効果度は検証途中である。
今後の取組		
課題		本奨学金の返還は平成30年度から開始されたが、これまでの卒業した返還対象者24人中、全額又は半額免除となった者は9人となった。市内定住促進にある程度寄与したものと推察されるが、今後もその成果を確認する必要がある。
改善策		当面の目標値を返還免除割合50%以上(初年度実績以上)とし、検証を継続していく。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 市内定住促進に対する効果の検証途中であること、利用者数が堅調に推移していることから、同じ内容で継続するため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	ICT活用教育			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	ICT機器を活用する情報能力を育み、学習内容の共有化や学習意欲・思考力・判断力などの向上につなげる。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<p>タブレット端末等を導入し、校内研修もを行いながら、ICT機器を活用した授業等を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小学校用タブレット端末 4,744千円 (78台継続2,722千円、58台継続2,022千円)</li> <li>■ 中学校用タブレット端末40台リース 1,423千円</li> <li>■ iPad72台及び附属機器購入 4,776千円</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	10,943 千円		24,029 千円	6,880 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	各小・中学校タブレット端末リースを継続したほか、iPadを追加購入し、教師用も含めて一体的に使用できる環境整備を進めることができた。
効果度	B	各学校での使用頻度等にはらつきはあるものの、通信環境も整えたことで日常的な利用が進んでいる。
今後の取組		
課題		日常的な維持管理(OSやアプリの更新など)が継続すること、教職員のスキルアップが求められること、児童生徒へ適切な使い方を指導することなど、1人1台端末の有効利用を進めるための新たな業務負担が発生している。
改善策		教育委員会が主体的にアプリやアカウントの設定・更新、研修のあっせん・実施などに携わることで教職員へのサポートを充実させ、学校での利用促進につなげていく。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: ICT環境の整備と適切な運用は、学力向上や教職員の働き方改革に有効な手段であり、重点的な施策として今後も推進するため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実		所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	公設塾の開設			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	市内の小・中学生を対象に、学力向上及び学校以外での学習習慣の定着化を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	小学生(子ども塾) 週2時間 ■登録児童数 77人 ■塾講師謝礼 770,000円 ■テキスト代 113,740円  中学生(公設学習塾) 隔週50分(1・2年生)、週50分(3年生) ■登録生徒数 28人 ■業務委託料 1,411,520円		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	2,296 千円		2,202 千円	3,118 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	全体児童・生徒数それぞれに対する登録者の割合は、小学生28.8%(前年度比+3.3)、中学生16.1%(前年度比-2.6)となった。
効果度	B	学習時間が伸び、学習習慣の定着が図られた。
今後の取組		
課題		前年度に大幅な減少となった登録児童・生徒数(元年度142名、2年度105名)が、今年度も同数(105名)となった。
改善策		小学生(子ども塾)は統合小学校での実施に移行し利便性の向上を図るとともに、中学校(公設学習塾)は対象教科の拡大で更なる学習習慣定着につなげる。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由： 学習への意欲喚起と学習習慣定着の一助となるよう、中学校(公設学習塾)の対象教科を拡大(英語を追加)して取り組むため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進		所管課係名	社会教育課社会教育係
事業名称	青少年教育			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	青少年教育の振興、健全育成や非行防止に係る活動を助長するため、青少年育成事業を実施するとともに、各地区交流の推進やリーダー養成などを通じ、児童・生徒の体験活動等を支援・奨励する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	青少年育成健全事業 ■ふるさと少年教室(中止) ■子ども秋あそび事業(参加者13人) ■あかびら子どもまつり(中止) ■かるた会(中止) ■子ども冬あそび事業(中止)		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	0 千円		0 千円	83 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	子ども秋あそび事業は実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度もその他事業全てを中止した。
効果度	C	多くの事業が中止となり従前のような効果を挙げることができなかつたが、実施した1事業では体験活動の実施など、子どもたちの健全育成に繋がる学びの場を提供できた。
今後の取組		
課題		児童・生徒数の減少、地区育成会の廃止、新型コロナウイルス感染症への対策など、実情に合わせた事業の見直しが必要となっている。
改善策		各種青少年団体や育成会組織の現状を踏まえ、事業全体を検証し内容の見直しを進めるとともに、感染状況に応じた柔軟な企画実施を目指す。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
③	理由： 参加者の減少や新型コロナウイルス感染症に対応し、新たな体制の下で育成者とともに事業内容の見直しを行う必要があるため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進		所管課係名	社会教育課社会教育係
事業名称	出前講座			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	子どもから高齢者まで幅広く、また、気軽に学習できることを目的に、一定の人数の市民に対し、出張講座(出前講座)を実施し生涯学習社会の実現を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■出前講座数 45講座</li> <li>■開設講座数・受講者数 7件・184人 (元年度 15件・540人、2年度 11件・327人)</li> <li>■主な講座の受講者数等 炭鉱遺産ガイダンス施設見学 4件・115人 認知症サポーター養成 2件・19人</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度実績を下回った。
効果度	B	受講者数等は大きく減少したが、児童・生徒の学習機会の確保と市民の知識向上の一助となった。
今後の取組		
課題	小・中学校での授業や町内会など市内団体の研修として利用されているが、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、受講者数が減少した。また、感染症拡大防止のため、受け入れを中止した講座もあった。	
改善策	今後も各種団体や市各課の協力を得ながら、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しつつ、事業を継続していく。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 生涯学習社会の実現を目指し、継続して事業を実施するため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進		所管課係名	社会教育課	
事業名称	社会教育施設等の充実				
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入			
	目的	教養・文化・スポーツなどの活動を通して、市民の学びを推進するための中核的施設として、歴史・生涯学習の場やスポーツ活動の場、文化交流の場を提供する。			
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 各施設の利用状況等…巻末資料のとおり			
	内容	新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館のため利用者が減少したが、感染防止対策にも取り組みながら、学習や健康増進、文化・スポーツ活動等の場として、各種社会教育施設の運営管理を行ってきた。 また、郷土の歴史である石炭産業を伝えるため、炭鉱遺産ガイドンス施設の運営管理を行った。			
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度	
	74,052 千円		95,995 千円	99,432 千円	

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数等が大きく減少した。
効果度	C	感染症対策を徹底し、可能な範囲での有効利用を進めた。
今後の取組		
課題		社会教育施設が持つ多種多様な学びや体験の場を充実するため、様々な年代が利用しやすい環境を作る努力が必要。また、感染防止の徹底と施設運営を両立していくことが課題。
改善策		感染防止対策を徹底しつつ、市民の各種ニーズに対応するため、各施設間のネットワークを強化し、利便性の向上を目指す。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 市民の学び場や健康増進の場、各分野の拠点として親しまれるよう、施設環境を充実させながら継続するため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進		所管課係名	社会教育課文化財保護係
事業名称	文化財保護			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 炭鉱遺産ガイダンス施設来館者数5,000人		
	目的	地域の歴史・文化を物語る郷土資料を保存・活用・整理し、教育や郷土理解に資するほか、郷土資料の中で特に価値の高いものを文化財として保護していく。 炭鉱遺産ガイダンス施設を適切に運営し、多くの方に見学や学習を通して炭鉱遺産を体験してもらうとともに、地域の歴史に対する理解を深めてもらう。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 炭鉱遺産ガイダンス施設来館者数 6,030人(前年度8,527人)		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■郷土資料の保護・普及・整理</li> <li>■指定文化財の保護管理</li> <li>■埋蔵文化財包蔵地の保護～工事事前協議等による対応</li> <li>■炭鉱遺産の保存・管理・整理</li> <li>■炭鉱遺産ガイダンス施設の運営</li> </ul> 炭鉱遺産の公開(ガイダンス施設来館者数6,030人、ガイド参加者数2,149人)		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	令和 元 年度
	4,928 千円		3,036 千円	2,141 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	来館者数目標(年間5,000人)を超えることはできたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、前年度の実績を下回った。
効果度	B	郷土資料の活用・教育・普及について、市内小・中学校の見学などで一定の効果を挙げることができた。 炭鉱遺産以外の資料の保存及び展示について、検討を要する。
今後の取組		
課題		炭鉱遺産の価値と意義を正しく理解し普及・啓発するため、国の文化財制度の中に位置付ける必要がある。 郷土資料全般の一元的取り扱い可能な施設の検討や、休館施設に収蔵している資料の管理・公開等について課題が残る。
改善策		炭鉱遺産の登録有形文化財への登録に向けて必要な業務を行い、効率的な申請準備を進める。 郷土資料全般の保存、管理及び展示については、市全般の公共施設管理の方針を踏まえ検討する。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 一定の成果を挙げていることから、更なる施策の展開に向けた取組を継続するため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進		所管課係名	社会教育課図書館図書係
事業名称	図書館の運営と読書活動			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	図書館利用と読書活動を推進する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	資料の収集と提供・保存等基本的業務のほか、次のサービス・事業を実施した。 <サービス> ■図書資料の整備・充実(図書購入1,858冊、除籍6,280冊)、■図書管理システムによるカウンター業務、■パソコンによる簡単な図書検索、■公立図書館と連携した図書相互貸借サービス、■レファレンスサービス・リクエスト及び予約サービス、■図書除菌機導入による安心で衛生的な読書の確保、等 <事業> ■ブックスタート、■読書感想文コンクール、■家読(うちどく)啓発、■職場体験・図書館見学、■移動図書館、■団体貸出・配本サービス、■おたのしみ会、■リサイクルコーナー、■出張おはなし会、等 ■広報掲載(図書館だより)、ホームページ更新、ポスター掲示、パンフレット作成等 ■老朽化した施設の営繕・補修と環境整備(花壇植栽、館内の飾り付けの充実)		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	平成 元 年度
	6,574 千円		7,492 千円	9,780 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	新型コロナウイルス感染拡大を受けての臨時休館・行事の中止により利用者数は減少したが、感染防止対策を徹底しながら運営することができた。
効果度	B	利用者数は減少したものの、前年度に中止となった読書感想文コンクールを再開するなど、図書館利用の促進と読書活動の推進について、一定の効果を挙げることができた。
今後の取組		
課題		開館以来40年を経過し、建物の老朽化に加え、狭隘化、バリアフリー対応の不足により施設の更新時期を迎えており。また、図書館を取り巻く環境の変化、市民ニーズの多様化等、様々な課題に直面している。
改善策		早急な施設更新は難しいことから、施設修繕による安全な環境整備を行っていく。また、利用者のニーズ・時事的動向・社会状況等を考慮し、幅広い図書を購入していくことで利用者増につなげていくとともに、要望に添った行事を開催していく。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 図書館利用の促進と読書活動推進のため、基本的な業務とサービスを行うとともに、資料や情報の提供に対する求めに応じていくため。

## 令和 3 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進		所管課係名	社会教育課社会体育係
事業名称	体育・スポーツ活動			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 前年度実績を上回る各事業の参加者数		
	目的	幼少期から高齢者までの誰もが気軽に参加できるスポーツを通して、心身ともに健康で豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツ社会の実現を目指す。		
実績	実績値	■軽スポーツ大会のみ実施(参加者19人) ■その他体育・スポーツ事業(中止)		
	内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、次の事業を中止した。 スポーツ・レクリエーション(スポーツ大会) ■ミニバレー大会、■ニュースポーツ大会 スポーツ教室 ■一般水泳教室、■こども水泳教室、■バレーボール教室、 ■こども野球教室 北翔大学との包括連携事業 ■こども体力測定会・走り方教室、■市民スマイルウォーキング		
事業費 (決算額)	令和 3 年度	*参考	令和 2 年度	平成 元 年度
	16 千円		23 千円	682 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していたほとんどの体育・スポーツ事業を中止した。
効果度	C	感染防止対策を徹底し、感染リスクの低い種目への変更もしたが1事業の実施にとどまったため、従前のような効果を挙げることができなかった。
今後の取組		
課題		新型コロナウイルス感染症の流行が長期化し、日常の生活スタイルにも様々な制限があるが、体力向上や生活習慣病予防などの健康増進活動は重要である。今後も、市民の誰もが日常を通じて気軽にスポーツに参加できる体制づくりを進めることが必要。
改善策		スポーツ大会等の開催に関しては、スポーツ協会ほか関係団体との連携を図り、参加者の増加と定着化に努める。また、子どもたちを対象としたスポーツ教室等を実施しスポーツの楽しさを体験してもらうとともに、更なる技術の向上を図る。

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 生涯スポーツ社会の実現を目指し、継続して事業を実施するため。

## 《資料》

# 教育施設利用状況

【交流センターみらい】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 29	4,476	2,182	3,506	1,926	6,717	4,393	5,594	3,598	1,721	3,284	3,498	1,544	42,439	81.2%
	H 30	2,606	3,783	3,217	1,514	6,244	3,999	4,391	4,731	1,685	7,718	2,471	6,228	48,587	114.5%
	R 1	2,209	2,123	3,862	1,353	5,624	5,324	4,376	3,625	1,624	10,299	2,354	121	42,894	88.3%
	R 2	290	11	838	924	1,865	948	1,983	1,301	654	620	1,637	2,488	13,559	31.6%
	R 3	1,082	402	365	810	2,481	143	1,097	1,205	902	1,100	108	358	10,053	74.1%
使用料 (円)	H 29	153,840	153,650	131,030	121,740	133,280	155,985	224,125	227,995	179,970	319,665	146,460	468,170	2,415,910	82.3%
	H 30	182,830	239,515	102,475	112,205	167,310	66,310	181,665	234,765	150,965	274,475	156,720	492,485	2,361,720	97.8%
	R 1	179,230	192,400	122,035	115,580	156,505	252,060	168,641	198,101	139,896	300,531	135,730	297,973	2,258,682	95.6%
	R 2	78,687	3,332	42,014	70,527	83,866	102,308	129,063	69,214	49,780	68,639	58,376	455,162	1,210,968	53.6%
	R 3	106,056	10,950	49,277	45,673	59,951	10,382	97,457	137,514	98,282	127,028	15,736	461,205	1,219,511	100.7%

【東公民館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 29	685	495	596	798	657	744	794	629	426	397	1,004	1,086	8,311	95.6%
	H 30	571	513	585	702	645	624	616	623	409	305	900	558	7,051	84.8%
	R 1	932	466	646	703	559	496	662	617	338	370	1,065	31	6,885	97.6%
	R 2	87	28	282	598	267	355	540	367	205	97	334	686	3,846	55.9%
	R 3	410	125	136	429	249	0	605	448	328	205	191	286	3,412	88.7%
使用料 (円)	H 29	22,420	29,735	23,110	32,080	15,125	28,194	37,276	36,400	37,908	26,774	39,492	37,682	366,196	95.5%
	H 30	20,354	28,660	30,250	18,200	21,845	18,379	36,794	24,714	28,197	24,848	25,632	34,976	312,849	85.4%
	R 1	20,886	14,935	20,315	17,255	16,985	25,479	27,124	28,758	33,987	27,414	20,514	△ 6,444	247,208	79.0%
	R 2	5,556	920	12,700	13,960	8,230	13,796	22,229	11,427	12,772	11,250	12,546	36,234	161,620	65.4%
	R 3	11,909	4,740	4,020	15,085	3,215	2,530	24,888	30,285	21,726	5,196	0	10,377	133,971	82.9%

【図書館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 29	440	338	421	386	393	365	381	401	373	301	298	402	4,499	84.7%
	H 30	408	378	441	389	394	420	349	403	351	328	301	381	4,543	101.0%
	R 1	370	330	405	341	392	387	409	399	356	288	306	356	4,339	95.5%
	R 2	223	161	378	342	375	337	409	361	351	282	267	289	3,775	87.0%
	R 3	319	188	99	375	307	0	421	327	361	237	64	163	2,861	75.8%
貸出数 (冊)	H 29	2,155	1,669	2,023	1,760	1,819	1,729	1,761	1,873	1,910	1,487	1,480	1,849	21,515	91.0%
	H 30	1,946	1,789	1,840	1,858	1,794	1,906	1,719	1,893	1,795	1,697	1,536	1,886	21,659	100.7%
	R 1	2,031	1,922	1,864	1,575	1,985	1,880	2,172	2,062	1,944	1,712	1,640	1,939	22,726	104.9%
	R 2	1,129	924	1,908	2,065	2,054	1,845	2,086	1,875	2,194	1,741	2,126	1,601	21,548	94.8%
	R 3	2,127	1,351	1,551	2,107	2,020	0	3,184	1,870	2,555	1,710	671	919	20,065	93.1%

【総合体育館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 29	11,875	1,770	1,918	1,641	1,822	2,586	6,899	3,601	2,759	4,611	2,282	3,637	45,401	110.3%
	H 30	9,246	1,557	1,789	2,143	1,884	2,100	6,904	2,786	2,389	2,403	2,294	3,283	38,778	85.4%
	R 1	9,792	1,510	1,733	2,018	2,019	2,305	7,271	2,700	2,744	2,547	2,204	112	36,955	95.3%
	R 2	1,174	143	1,460	1,454	1,296	1,364	2,289	1,824	1,850	1,689	1,747	2,503	18,793	50.9%
	R 3	1,923	662	422	1,341	1,016	0	2,032	2,801	2,168	1,358	0	782	14,505	77.2%
使用料 (円)	H 29	97,904	104,450	92,870	76,380	88,120	203,800	203,260	209,196	148,210	183,734	141,230	203,832	1,752,986	95.5%
	H 30	61,394	436,324	96,710	42,650	104,320	225,230	108,940	162,706	104,336	162,976	156,292	191,324	1,853,202	105.7%
	R 1	159,070	129,972	86,000	58,320	95,610	255,190	208,010	176,986	167,413	170,557	152,256	12,720	1,672,104	90.2%
	R 2	80,394	0	88,100	72,330	70,580	71,520	113,890	193,703	138,178	139,882	127,060	190,435	1,286,072	76.9%
	R 3	290,319	46,334	14,430	90,440	71,950	0	94,880	233,436	154,400	150,931	0	38,778	1,185,898	92.2%

【市民プール】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 29			1,746	3,200	2,307	547							7,800	94.6%
	H 30			1,391	2,693	2,132	619							6,835	87.6%
	R 1			1,065	2,619	1,928	662							6,274	91.8%
	R 2			888	1,256	1,334	707							4,185	66.7%
	R 3			363	1,683	1,053	0							3,099	74.1%
使用料 (円)	H 29			218,950	170,450	133,100	38,550	3,050						564,100	90.0%
	H 30			249,700	101,050	162,400	47,500	7,050						567,700	100.6%
	R 1			202,200	124,250	129,200	55,850	6,350						517,850	91.2%
	R 2			179,050	88,450	67,200	50,500	2,400						387,600	74.8%
	R 3			148,500	98,200	74,000	-4,800	-2,800	-36,800		-1,000			275,300	71.0%

【虹ヶ丘球場】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 29		398	647	282	685	431	320						2,763	111.9%
	H 30		497	685	313	338	255	78						2,166	78.4%
	R 1		420	1,081	854	559	410	670						3,994	184.4%
	R 2	11	65	132	589	272	62	462						1,593	39.9%
	R 3		80	500	498	192	0	280						1,550	97.3%
使用料 (円)	H 29		3,350	10,650	11,500	14,660	9,750	8,280						58,190	123.7%
	H 30		7,715	18,060	12,950	10,110	8,120	4,025						60,980	104.8%
	R 1		1,800	8,745	13,355	20,160	6,170	10,050						60,280	98.9%
	R 2	1,175	1,880	4,465	12,050	8,775	2,350	9,175						39,870	66.1%
	R 3	0	3,525	0	12,450	10,065	0	2,400						28,440	71.3%

【スポーツセンターテニスコート】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 29		634	454	684	617	433	402						3,224	110.4%
	H 30		791	664	692	260	403	177						2,987	92.6%
	R 1		309	168	325	172	156	136						1,266	42.4%
	R 2	6	57	155	225	236	201	126						1,006	79.5%
	R 3		186	33	201	69	0	82						571	56.8%
使用料 (円)	H 29	48,900	10,650	13,350	28,350	30,300	17,100	4,050						152,700	105.9%
	H 30	54,000	21,150	8,100	11,250	15,600	12,900							123,000	80.6%
	R 1	62,700	18,450	25,950	25,200	16,650	14,490							163,440	132.9%
	R 2	2,190	3,270	15,420	29,590	38,160	14,480	11,520	940					115,570	70.7%
	R 3		17,980	7,190	19,640	12,480	0	4,830	1,860					63,980	55.4%

【パークゴルフ場（赤平）】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 29		102	50	632	536	731	539						2,590	58.6%
	H 30		965	801	792	688	954	787						4,987	192.5%
	R 1		627	832	892	518	764	558						4,191	84.0%
	R 2	377	428	886	747	596	789	748						4,571	109.1%
	R 3		355	332	687	154	0	456						1,984	43.4%

※パークゴルフ場は、使用料無料。

【炭鉱遺産ガイダンス施設】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30 (有料) (無料)				462	268	379	553	143	91	24	65	97	2,082	
					1,255	1,316	1,310	1,372	1,074	379	228	256	518	7,708	
	R 1 (有料) (無料)	240	374	411	564	413	530	471	217	106	92	49	0	3,467	166.5%
		783	1,114	1,110	1,285	1,118	1,408	1,288	529	378	335	350	25	9,723	126.1%
	R 2 (有料) (無料)	40	41	150	451	386	412	371	174	49	62	49	86	2,271	65.5%
		212	198	780	1,780	1,480	1,091	787	384	264	449	514	588	8,527	87.7%
	R 3 (有料) (無料)	141	142	132	395	328	0	561	309	91	23	0	27	2,149	94.6%
使用料 (円)		578	501	284	1,046	950	0	1,202	728	444	140	0	157	6,030	70.7%
	H 30				262,100	180,200	255,100	383,600	87,900	43,600	13,100	25,900	69,800	1,321,300	
	R 1	99,850	272,950	236,900	223,700	310,950	390,050	305,000	112,600	51,600	78,500	37,400	0	2,119,500	160.4%
	R 2	31,000	32,400	83,100	292,300	285,200	293,250	245,800	135,600	18,600	47,800	36,800	63,900	1,565,750	73.9%
	R 3	67,100	79,900	47,800	242,900	208,500	0	333,000	172,400	49,200	23,300	0	16,000	1,240,100	79.2%

※利用者数のうち、上段は有料のガイド付き見学参加者数、下段は無料の入館者数。